



編集・発行/日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町2087 tel 25-4854/fax 24-8204
ホームページ www.jcp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@jcp-isesaki.net

新型コロナから命・暮らしを守る要望提出



臂市長に要望書を手渡す日本共産党議員団

新型コロナで多くの皆様から様々な相談が寄せられ、その影響の深刻さを日々感じつつ、政策実現に相談にと駆け回った一年でした。

コロナから命と暮らしを守る政治の在り方が、今、鋭く問われています。一番身近な市政が暮らしにしっかり寄り添い、安心して暮らせる伊勢崎市になるように、今年も全力で頑張ります。

日本共産党伊勢崎市議団

北島 元雄 長谷田 公子

2022年度予算要望書を提出しました 要望項目抜粋

- ◆PCR検査をいつでもだれでも無料で。
 - ◆全ての小中学校を30人学級に。
 - ◆第2子まで学校給食費無料化を。
 - ◆高校卒業まで子ども医療費無料化を。
 - ◆返済不要の奨学金制度新設などで、進学を後押し。学生への生活支援も。
 - ◆不登校について専門性が高いスクールカウンセラーを各校に。校内に子どもの「居場所」づくりと専任教諭配置を。
 - ◆国保税の障害者・子どもの均等割ゼロに。
 - ◆強権的な徴税行政やめ生活再建の立場で。
 - ◆子ども食堂・フードバンク等への支援を。
 - ◆高齢者タクシー券の枚数増と、家族の制限をなくす。予約すると迎えに来るデマンド交通の導入を。
 - ◆道路の薄れた白線やゼブラゾーン表示等の早急な引き直し。学校周辺のゾーン30の指定を行い、通学路の安全対策を。
 - ◆小規模企業振興条例制定と、まちなか商店リニューアル助成制度実現。新規事業者支援拡充、空き店舗対策の具体化を。
 - ◆市民プール、高齢者入浴施設、保健施設の統廃合を行わない。
 - ◆河川改修や川床浚渫、内水の溢れ対策を。
- など47項目の重点要望を提出しました。

運転しなくても暮らせるまちへ1754筆署名提出



先日、89歳の高齢者がブレーキを踏み間違える悲しい事故がありました。免許返納を考える方も多けれど、伊勢崎では車を運転しなければ買い物にも病院にも行けず生活できません。

コミュニケーションバスを利用してできる人は限られており、タクシー券助成も、今は家族に車を運転する人がいるとダメです。

タクシー券改善へ
同会は、12月17日臂市長に1754筆の署名を提出しました。市長は市民要望に押され、同じ家や隣地に車に乗る子どもがいてもタクシー券助成の対象にする方向とのこと。デマンドは次のバス改編時に検討と言いますが、それでは遅すぎます。早く実現するようにさらに署名を広げましょう。

で120枚のタクシー券を、太田のように電話で予約して迎えに来るデマンド交通の実現を求め、「車が運転できなくても安心して暮らせるまちをつくる会」が署名に取り組んでいます。共産党議員団も皆さんの声を市長に届けるためにご協力しました。

市内の労働組合や女性団体、商工団体などで構成する大運動実行委員会と、フードバンクなどに取り組んでいる一般社団法人とまり木の会は学生・青年の食糧支援「まんぷくプロジェクト@伊勢崎」を開催しました。コロナでアルバイトが無くなり、大変な学生や青年を応援しようと、たくさんの人からコマヤカップラーメン、日用品が寄せられました。



にぎわう会場

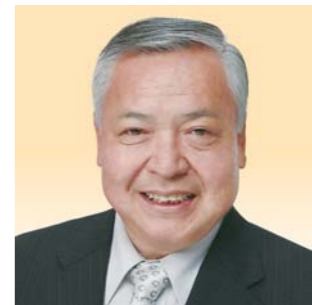
学生・青年食糧支援
お手伝いしました

会場の市民のもり公園は、もらった野菜や米をダンボール箱で自転車に積む学生などでにぎわいました。北島元雄・長谷田公子両市議も、荷物の搬入やお困りごと相談のお手伝いをしました。

議会エピソード 25

アンケートにお寄せいただいた嬉しいお言葉、厳しいご指摘…全て生かし、今年も頑張ります！（K）

■知りたいと思っていたことをずばり聞いてくれ、応援しようという気持ちになる。批判だけでなく他の市の良い例をあげ、より良い住みやすい市になるよう働きかけて欲しい。(30代・女性) ■選挙の時の公約をどのように進めているか報告が欲しい。(60代・女性) ■住民(市民)の声を聞こうという姿勢に頼もしさを感じ、期待しています。(60代・女性) ■「何でも賛成」ではなく、厳しい追及をして頑張ってください。(60代、女性) ■常にOPENで信用できる。今後も市政のチェックや不正に目を光らせてほしい。(50代) ■税金の無駄遣いには議員さん方の姿勢や感性が重要です。それに関心が無いような議員さんも残念ながら見受けられます。



北島 元雄

24-8410
090-4065-2120
波志江町3626



長谷田 公子

25-1130
070-5564-6271
八幡町44

食糧支援、温暖化対策等 一般質問

食糧支援に市も協力を

コロナ禍で困窮した人が「食べ物が無い」と市に相談しても、民間団体を紹介するだけでした。

お隣の玉村町では町が予算をしっかりと出している、町社会福祉協議会が直接、食糧支援に乗り出しています。

市内のフードバンク・子ども食堂等について聞きましたが、今のところは実態把握も、連携や支援も無しということでした。

1円もお金は出さないうまま、民間任せというのでは、無責任です。

市が直接支援しないなら、しっかりと予算をつけて支援体制を整えるべきです。

見直し早急に 地球温暖化対策実行計画

国の温室効果ガス削減目標は昨年見直され、2013年比で30年までに46%、50年には実質ゼロです。

これでも化石賞を取るほど遅れた計画なのに、市計画はなんと見直し前の国計画（30年までに26%、50年までに80%）のままです。

前橋市や太田市は50年までにゼロ



あずま中太陽光パネルは壊れたまま

という目標を設定してゼロカーボンシティ宣言を行い、国の支援策を活用しています。

また、太田市や中之条町などは新電力事業に自治体としてかわかり、県を始め7市8町4村が太陽光発電装置設置等への補助を行っています。伊勢崎市は「目的を達成した」と、2018年で補助を打ち切りました。公共施設へのパネル設置も少なく、あずま中は壊れたままになってい

ます。環境を目玉にする市長なら、温暖化対策を抜本的に進めるよう強く求めました。

第3子給食費無料化改善へ

市の学校給食無料化は、小・中・支援学校で3人以上同時に学校給食を食べている場合、第3子以後の給食費を助成する制度です。全額納めて翌年度4月にまとめて返金する制度で、毎月の支払いに困っている家庭への思いやりがありません。さらに世帯所得が600万円以下という所得制限があります。対象も制度も大変貧弱で、申請して適応になった人数は予定の半分200人ほどでした。

この間、新日本婦人の会などが繰り返し改善を要望。昨年5月には共産党市議団も同席し、新しく就任した臂市長・三好教育長と懇談して、改善を求めました。

このほど市長は来年度より、翌年度にまとめて助成する制度から支払わなくてもすむ無料化制度に変更し、所得制限を無くすことも明らかにしました。

市民の運動で、他市に例のない2つの厳しい制約に、改善にめどがつかしました。

さらに、年齢に関係なく第3子以降を無料に、第2子半額などと前に進めるよう、運動を広げていきましょう。



昨年5月市長・教育長に要請

燃料高騰に福祉灯油など実施を要望

冬期間にあつては「命綱」とも呼ぶべき灯油が大幅に値上がり、エアコンの電気代も値上げが続いています。収入の少ない家庭にとっては食料品の値上がりや物価の上昇ともあいまって、生活を苦しめる大きな要因になっています。高齢者からは「夜は早く寝る」「日中は図書館など公共施設を利用し、ストーブをたかない」などの声が寄せられています。

過去に急騰時、多くの自治体で「福祉灯油」が実施されました。共産党議員団は燃料の値上がりという深刻な事態に対処し、支援の対策がとられるよう要望書を提出しました。

国は実施自治体に特別交付税を出すと言っているので、温かい対応が求められます。



副市長に要望書を手渡す党市議団

その他の一般質問

ジェンダー平等施策の前進を

● 審議会委員等の女性比率、男性育児休業取得率達成

● パートナリシップ宣誓制度・条例の制定と具体化を

● 四ツ葉学園中等教育学校入学定員の男女枠撤廃、中学校・四ツ葉学園の制服にジェンダーレス制服を

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

無料生活法律相談会

毎月第4月曜日 午後6時～
弁護士と市議が同席します
お申し込みは裏面の市議まで(要予約)

★市民アンケートの要望を届けました

引き続き改善に取り組みます！

● 華蔵寺公園の園路改修(↓)

● カーブミラー設置
(波志江町)←

